

中学校 国語

解答についての注意点

- 1 解答用紙は、マーク式解答用紙と記述式解答用紙の2種類があります。
- 2 大問 **1** ～ 大問 **3** については、マーク式解答用紙に、大問 **4**、**5** については、記述式解答用紙に記入してください。
- 3 解答用紙が配付されたら、まずマーク式解答用紙に受験番号等を記入し、受験番号に対応する数字を、鉛筆で黒くぬりつぶしてください。
記述式解答用紙は、全ての用紙の上部に受験番号のみを記入してください。
- 4 大問 **1** ～ 大問 **3** の解答は、選択肢のうちから、**問題で指示された解答番号**の欄にある数字のうち一つを黒くぬりつぶしてください。
例えば、「解答番号は **1**」と表示のある問題に対して、「**3**」と解答する場合は、**解答番号 1** の欄に並んでいる ① ② ③ ④ ⑤ の中の ③ を黒くぬりつぶしてください。
- 5 間違っ
てぬりつぶしたときは、消しゴムできれいに消してください。二つ以上ぬりつぶされている場合は、その解答は無効となります。
- 6 その他、係員が注意したことをよく守ってください。

指示があるまで中をあけてはいけません。

I

次の(1)～(5)の問いに答えよ。

(1) 次のうち、「中学校学習指導要領」(平成29年3月告示)の「第2章 各教科 第1節 国語 第

2 各学年の目標及び内容」に示されている第3学年の「2 内容〔思考力、判断力、表現力等〕

A 話すこと・聞くこと」の「(1) 話すこと・聞くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。」に示されている内容として正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

I

1 目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討すること。

2 自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫すること。

3 資料や機器を用いるなどして、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること。

4 必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめること。

5 進行の仕方を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりすること。

(2) 次の各文は、「中学校学習指導要領(平成29年3月告示)」の「第2章 各教科 第1節 国語

第2 各学年の目標及び内容」に示されている第1学年～第3学年の各学年の「2 内容〔思考力、判断力、表現力等〕 B 書くこと」の「(1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。」に示されている一部であるが、それぞれの文と指導学年の正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。 解答番号は 2

A 目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすること。

B 文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫すること。

C 根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。

D 目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えること。

E 表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすこと。

I	A	第3学年	B	第2学年	C	第2学年	D	第1学年	E	第3学年
2	A	第3学年	B	第3学年	C	第2学年	D	第3学年	E	第3学年
3	A	第2学年	B	第3学年	C	第1学年	D	第1学年	E	第3学年
4	A	第2学年	B	第3学年	C	第1学年	D	第3学年	E	第2学年
5	A	第2学年	B	第2学年	C	第1学年	D	第3学年	E	第2学年

- (3) 次の文章は、「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）」（平成28年12月21日中央教育審議会）のうち、「第2部第2章 各教科・科目等の内容の見直し」で示されている、国語に関する記述（2）具体的な改善事項③学習・指導の改善充実や教育環境の充実等 ー」「主体的・対話的で深い学び」の実現」の一部である。空欄①～③に当てはまる語句として正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は 3

国語教育の改善・充実を図るためには、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、後述するアクティブ・ラーニングの三つの視点に立った授業改善に取り組んでいくことが重要である。言語能力を育成する国語科においては、①を通して資質・能力を育成する。このため、国語科におけるアクティブ・ラーニングの視点からの授業改善とは、アクティブ・ラーニングの視点から①を充実させ、子供たちの学びの過程の更なる質の向上を図ることであるとと言える。

（「主体的な学び」の視点）

「主体的な学び」の実現に向けて、子供自身が目的や必要性を意識して取り組める学習となるよう、学習の見通しを立てたり振り返ったりする学習場面を計画的に設けること、子供たちの学ぶ意欲が高まるよう、実社会や実生活との関わりを重視した学習課題として、子供たちに身近な話題や現代の社会問題を取り上げたり自己の在り方生き方に関わる話題を設定したりすることなどが考えられる。特に、学習を振り返る際、子供自身が②ことができ、説明したり評価したりすることができるようになることが重要である。

（「対話的な学び」の視点）

「対話的な学び」の実現に向けて、例えば、子供同士、子供と教職員、子供と地域の人が、互いの知見や考えを伝え合ったり議論したり協働したりすることや、本を通して作者の考えに触れ自分の考えに生かすことなどを通して、互いの知見や考えを広げたり、深めたり、高めたりする①を行う学習場面を③ことなどが考えられる。

（「深い学び」の視点）

「深い学び」の実現に向けて、「言葉による見方・考え方」を働かせ、言葉で理解したり表現したりしながら自分の思いや考えを広げ深める学習活動を設けることなどが考えられる。その際、子供自身が自分の思考の過程をたどり、自分が理解したり表現したりした言葉を、創造的・論理的思考の側面、感性・情緒の側面、他者とのコミュニケーションの側面からどのように捉えたのか問い直して、理解し直したり表現し直したりしながら思いや考えを深めることが重要であり、特に、思考を深めたり活性化させたりしていくための語彙を豊かにすることなどが重要である。

- | | | |
|---|---|--|
| <p>5 ① 言語活動</p> <p>4 ① 表現活動</p> <p>3 ① 言語活動</p> <p>2 ① 表現活動</p> <p>1 ① 言語活動</p> | <p>② 自分の学びや変容を見取り自分の学びを自覚する</p> <p>② 自身の言葉で表現し直すことで知識の定着を図る</p> <p>② 自身の言葉で表現し直すことで知識の定着を図る</p> <p>② 自身の学びや変容を見取り自分の学びを自覚する</p> <p>② 自身の言葉で表現し直すことで知識の定着を図る</p> | <p>③ 計画的に設ける</p> <p>③ 単元の最後に設ける</p> <p>③ 計画的に設ける</p> <p>③ 計画的に設ける</p> <p>③ 単元の最後に設ける</p> |
|---|---|--|

- (4) 次のA～Eは、芭蕉の俳諧である。それぞれの俳諧の説明として適切なものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は 4

E	D	C	B	A
著作権保護の観点により、本文を掲載いたしません。 出典…芭蕉集 ほるぷ出版 164ページ7行目、165ページ2行目、167ページ3行目 168ページ1行目、9行目				

- 1 Aは、菜の花畑に近づくとき、そこで花見をしていた雀たちがいっせいに飛び立った残念さを詠んだ句で、季語は「雀」、季節は春である。
- 2 Bは、静まりかえった古池に蛙の飛び込む音が聞こえてまた静寂が訪れたことを詠んだ句で、季語は「蛙」、季節は秋である。
- 3 Cは、ゆっくりと初雪を見たいと思っていたところ、ちょうど自分の草庵にいたときに初雪が降ってきたというありがたさを詠んだ句で、季語は「はつゆき」、季節は冬である。
- 4 Dは、山道を越えてきてかたわらを見ると蓮の花が咲いており、無性に心がひきつけられたことを詠んだ句で、季語は「山路」、季節は秋である。
- 5 Eは、名月をめぐるために、時間を忘れて真夜中になるまで池をめぐっていたことを詠んだ句で、季語は「名月」、季節は秋である。

- (5) 次のA～Eの四字熟語の意味として、適切なものをあとのA～Eから選ぶとき、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は 5

「意味」
 A 一日千秋 B 花鳥風月 C 行雲流水 D 晴耕雨読 E 風光明媚

- A 山水の景色がすぐれて美しく、人の心をひくこと。
- B 風流の対象としてながめられる自然界の景観。またその代表的なもの。
- C 非常に思い募ること。また待ち遠しいこと。
- D 都会を離れて悠々自適する読書人の理想の生活を表す語。
- E 一点の執着なく、物に応じ事に従って行動すること。

1	A	—	ウ	B	—	イ	C	—	オ	D	—	エ	E	—	ア
2	A	—	エ	B	—	オ	C	—	イ	D	—	ウ	E	—	ア
3	A	—	エ	B	—	ア	C	—	オ	D	—	ウ	E	—	イ
4	A	—	ウ	B	—	オ	C	—	イ	D	—	エ	E	—	ア
5	A	—	ウ	B	—	イ	C	—	ア	D	—	エ	E	—	オ

次の文章を読んで、あとの(1)～(5)の問いに答えよ。

著作権保護の観点により、本文を掲載いたしません。

著作権保護の観点により、本文を掲載いたしません。

出典：歴史と風土の中で

山本学治著 鹿島出版会

7ページ9行目から10ページの終わりまで

（山本学治『歴史と風土の中で』より）

注 ヴォールト ― アーチ構造を利用した曲面天井。アーチ形天井。

(1) 部 a、c のカタカナを漢字になおすとき、同じ漢字を含むものはどれか。1、5 からそれぞれ一つ選べ。解答番号は、a は 6、b は 7、c は 8

a イトナまれる

- | | | | |
|---|---------------|---|-----------------|
| 1 | ジアイに満ちたまなざし。 | 2 | 放送セツビを点検する。 |
| 3 | ショウギョウの盛んな地域。 | 4 | 二つのジンエイが拮抗した議論。 |
| 5 | 飛行機をソウジュウする。 | | |

b カト期

- | | | | |
|---|----------------|---|----------------|
| 1 | 権利をジョウトする。 | 2 | 自分は成長のトジョウにある。 |
| 3 | 白いペンキで壁をトソウする。 | 4 | ホクト七星を観測する。 |
| 5 | 創作によって心情をトロする。 | | |

c コウソウ

- | | | | |
|---|----------------|---|------------------|
| 1 | 氷河期のチソウを観察する。 | 2 | じっくりソウダンして決める。 |
| 3 | 珍しい動物にソウグウする。 | 4 | シャソウから見える景色を楽しむ。 |
| 5 | ソウソフと語り合った思い出。 | | |

(2) 部①について説明したものとして、最も適切なものはどれか。1、5 から一つ選べ。

解答番号は 9

- 1 一度できあがった建築像が、新しい時代の人間の生活や意識および建物を生産する特定の生産方法や組織に適合すべく修正されようとする。
- 2 ある時代における建築のテーマと方法が消えた後にも残存している建築が、新しい時代における建築の不均衡を解消しようとする。
- 3 ある時代と残存した建築との間の不均衡が、新しい時代の現実の条件に適合すべく修正され、時代を超越した建築像が作りあげられる。
- 4 建物に対する特定の要求をもったある時代の人間の生活や意識が、その時代の建物を生産する特定の生産方法と組織を生み出そうとすること。
- 5 ある時代と、その時代まで残存した建築像との間に生じた不均衡、不都合な状態が、さらに次の時代に生まれた建築像によって修正されていく。

(3) — 部②について述べた内容として、最も適切なものはどれか。 1 ～ 5 から一つ選べ。

解答番号は 10

- 1 近代以前の建築の「現実化」は各時代の生活のあり方や感情、材料や生産方式に基づいていたが、一九世紀のそれは、残存した建築と外から与えられた建築との不均衡に基づいていた。
- 2 一九世紀における建築の「近代化」は、科学的な考え方、産業革命、それに基づく工業資本主義体制によるものであり、変革の著しさという点において現代の建築と大きく異なっていた。
- 3 近代社会特有の人間の感情のあり方に由来する建築の「近代化」によって、一九世紀の鉄骨アーチは、ローマからルネサンスに至る時代の石造ヴォールトの十倍以上の速さで発展した。
- 4 近代初期の建築の現実化の特徴は、近代の建築が基づくべき条件とそれ以降の建築が基づくべき条件の差の著しさにあり、この点によって近代建築運動が発生することとなった。
- 5 十九世紀の社会構造や生産手段の変革のテンポと規模は、それ以前のすべての歴史的發展と比較して著しく大きかったため、建築の「近代化」には意識的な秩序付けと整理が必要であった。

(4) 本文中の空欄 A、B に当てはまる語の組合せとして最も適切なものはどれか。

1 ～ 5 から一つ選べ。解答番号は 11

- | | | | | |
|---|---|---------|---|--------|
| 1 | A | 歴史的な再帰性 | B | 生産の工業化 |
| 2 | A | 経済的な合理性 | B | 生産の工業化 |
| 3 | A | 心理的な包摂性 | B | 生産の工業化 |
| 4 | A | 経済的な合理性 | B | 意匠の個別化 |
| 5 | A | 歴史的な再帰性 | B | 意匠の個別化 |

- (5) — 部③について述べた内容として、最も適切なものはどれか。 1 から 5 まで一つ選べ。

解答番号は

12

- 1 近代建築運動において、グロピウスが近代における「工業生産」を新しい建築構成の基本として設定し、ミースが近代的材料である「鉄・ガラス・コンクリート」を新しい建築素材として設定したのは、近代の現実に適合する新しい造型表現を模索しようとしたからである。
- 2 一九二〇年代の現実において、グロピウスの住宅工業は不成功に終わり、コルビュジエの賃貸住宅には数年間住む人がなかったが、これらの実践は、各々が捕えた近代の特性という前提に立ち、過去の建築と全く異なる新しい建築のタイプを骨格づけ、その発展の方向を明らかにするものであった。
- 3 グロピウスやミース、デースブルヒのような建築家たちは、近代化・現実化への抽象的・一般的な捕え方を、新しい建築構成や新しい建築素材、新しい造型表現の基本という形でそれぞれ具体的に現実化することによって、過去の建築を否定することができた。
- 4 コルビュジエは、「人間」「人間の生活・都市」という目的を設定し、一九二〇年代の新しい現実をあらゆる具体性において捕えることに成功した一方で、その賃貸住宅に数年間住む人がなかった事実が示すように、人々の理解を得ることはできなかった。
- 5 コルビュジエやグロピウス、ミースやライトのような人々が、近代の基本的傾向を一つの形にまとめることができたのは、残存する過去の建築の非近代的な性質を指摘し、その性質を近代の一般的特性として抽象することができたからである。

3

次の文章を読んで、あとの(1)～(5)の問いに答えよ。なお、設問の都合で返り点・送り仮名を省いたところがある。

著作権保護の観点により、本文を掲載いたしません。

出典…伝習録

岩波書店

379ページ8行目から12行目まで

(『伝習録』より)

〔注〕

種徳

— 人格を形成する。

漏泄

— 漏れ減ること。

勿助勿忘

— 手助けをせず、忘れもせず。

培植

— 培養。

刊落

— 枝打ちのこと。

(1) — 部①を書き下し文にしたとき、最も適切なものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

13

- 1 樹を種うる者は必ず其の心を養ひ、徳を種うる者は必ず其の根に培ふ。
- 2 樹を種うる者は必ず其の根に培ひ、徳を種うる者は必ず其の心を養ふ。
- 3 樹は者が種うるに必ず其の根に培ひ、徳は者が種うるに必ず其の心を養ふ。
- 4 樹は者に必ず種に培ひて其の根とし、徳は者に必ず種を養ひて其の心とす。
- 5 樹者は其れ根を必ず種に培ふこととし、徳者は其れ心を必ず種を養ふこととす。

- (2) — 部②③④について、本文中における読みを送り仮名も含めて現代仮名遣いで表したときの組合せとして最も適切なものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は 14

1	②	それ	③	ごとく	④	ようやく
2	②	それ	③	もし	④	しばらく
3	②	かの	③	もし	④	ようやく
4	②	かの	③	もし	④	しばらく
5	②	かの	③	ごとく	④	ようやく

- (3) — 部⑤の解釈として最も適切なものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は 15

- 1 詩文が精神の方に移ってしまふ。
- 2 精神が外好の方に移ってしまふ。
- 3 外好が詩文の方に移ってしまふ。
- 4 精神が詩文の方に移ってしまふ。
- 5 詩文が外好の方に移ってしまふ。

- (4) — 部⑥を「またすべからくかんらくすべく」と訓読するとき、返り点の施し方として最も適切なものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は 16

- | | | | | | | | | | |
|---|--------------------|---|--------------------|---|--------------------|---|---------------------------------|---|--------------------|
| 1 | 亦須 _レ 刊落 | 2 | 亦 _レ 須刊落 | 3 | 亦須 _レ 刊落 | 4 | 亦 _二 須刊落 _一 | 5 | 亦須 _レ 刊落 |
|---|--------------------|---|--------------------|---|--------------------|---|---------------------------------|---|--------------------|

- (5) 本文の要旨として最も適切なものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は 17

- 1 樹木の根幹や枝葉を大きく育てるには、まず樹木について詳しく記された書物をできるだけたくさん読んで、樹木について深く学ぶのがよい。
- 2 樹木の無用の枝を切り落とすようなことは、学問ではあつてはならないことで、たくさんすることに興味や関心をもち、幅広く学ぶのがよい。
- 3 樹木を育てるとき、適度に水と肥料をやり、あとは自然に任せておけば勝手に大きくなるように、成長のためには、何事も放っておくのがよい。
- 4 樹木を育てるように自らの心を育てるためには、いったんたくさんすることに興味や関心をもったうえで、そこから志を一つに絞るのがよい。
- 5 樹木を育てるときに、無用の枝を切り落とすことがよいのと同じで、学問をするときも、余計な誘惑は捨てて、一つのことには力を注ぐのがよい。

次の文章は、四条大納言が、藤原道長（殿）の娘である彰子（女院）の入内に際して、用意された屏風に貼る色紙形に書くための和歌を詠んだときの状況を描いたものである。これを読んで、あとの(1)～(6)の問いに答えよ。

著作権保護の観点により、本文を掲載いたしません。

出典：古本説話集（上）

講談社

70ページ2行目から72ページ1行目まで

（『古本説話集』より）

〔注〕

ひら

― 屏風の一面。

四条大納言

― 藤原公任。詩歌・管弦にすぐれ、当代随一の歌人と称された。

書くべきよしなし給ひければ

― ここでは、「歌を書くようにとお命じになったが」の意。

帥殿

― 藤原伊周。道長の甥。

(1) 〓部A、Bの本文における意味として最も適切なものはどれか。ア～オからそれぞれ一つ選べ。

A

ア 穏やかに
イ 怒って
ウ 心を込めて
エ 懸命に
オ 意地悪く

B

ア しばらくして
イ 驚くことに
ウ 高らかに
エ さつと
オ 結局

(2) 〓部a～eの敬語の種類と敬意の方向を説明したものとして最も適切なものはどれか。

ア～オから一つ選べ。

ア aは尊敬語で、語り手から帝への敬意を表している。
イ bは謙譲語で、道長から四条大納言への敬意を表している。
ウ cは謙譲語で、語り手から権大納言行成への敬意を表している。
エ dは丁寧語で、四条大納言から彰子への敬意を表している。
オ eは謙譲語で、語り手から道長への敬意を表している。

(3) 〓部①を、必要な内容を補い、「さりとも」の後に省略されている内容を明らかにして現代語訳せよ。

(4) 〓部②とあるが、ここで四条大納言が和歌を読み渋った理由として適切なものはどれか。

ア～オから二つ選べ。

ア 遅参して反感を買った自分が晴れの席で和歌を詠むことなど不適當だから。
イ 熟考して詠んだ和歌に対する道長からの不当な叱責に気分を害したから。
ウ 秀歌の中に自分の不出来な和歌が書かれると後世に悪評が残るから。
エ 自信作である和歌に添えるふさわしい詞書が思いつかないから。
オ 際立った和歌を詠めないならばいっそ詠まないほうがよいから。

(5) 和歌「むらさきの雲とぞみゆる藤の花いかなるやどのしるしなるらん」について説明したものとして、最も適切なものはどれか。ア〜オから一つ選べ。

ア 「紫の雲がまるで藤の花であるかのように見える。この家はどこにあるのだろうか、この上なく高いところにあるのだ」という意味の和歌であり、宮中を表す紫の雲と、庭に咲く藤の花を重ね、道長一族の隆盛を祈ることを意図している。

イ 「藤の花の美しさを隠す不吉な紫色の雲はどの家にかかっているのだろうか、いや、どの家にもかかっていない」という意味の和歌であり、道長一族を苦しめてきた不遇が去り、今後栄華を極めるであろうことを予言する意図が込められている。

ウ 「紫の雲かとみえるほど美しく咲いている藤の花は、どのようなめでたい家のしるしなのだろうか」という意味の和歌であり、宮中を表す紫の雲と屏風に描かれた藤の花を重ねて、ますます栄えていく道長一族への祝賀を表すことを意図している。

エ 「藤の花が咲く上に紫の雲がかかっているのが見えるが、このような珍しい現象を見られる高貴な家はどの家なのだろうか」という意味の和歌であり、藤の花が象徴する帝と、紫の雲が象徴する道長一族の、末永いかかわりを暗示する意図が込められている。

オ 「美しい藤の花が雨を降らせる紫の雲のように見える。慈雨によって藤の花が咲き誇ることは、どのような素晴らしい方の居場所なのだろうか」という意味の和歌であり、藤の花のように美しい彰子が、帝から深く寵愛され続ける未来を予言する意図が込められている。

(6) 本文の内容について説明したものとして最も適切なものはどれか。ア〜オから一つ選べ。

ア 彰子が自ら屏風を用意し、そこに貼る色紙形に歌人たちの和歌を集めて書かせた際、彰子に命じられた四条大納言は、美しく咲く藤の花が描かれた一面に書く和歌を担当した。

イ 屏風に貼る色紙形に和歌を書きつける役を命じられていた能書の権大納言行成がなかなか参上しなかったため、道長は待ちかねて何度も使いを出し、参上を急がせた。

ウ 誰も和歌を詠めずにいる状況の中、せめて四条大納言の和歌だけでも色紙形に書かなければ屏風が完成しないと思った道長は、心を込めて四条大納言を説得した。

エ たいそう思い悩んだ四条大納言が、陸奥紙に和歌を書いて差し出したところ、道長はその紙を広げて前に置き、帥殿が四条大納言の和歌を読み上げた。

オ 自分の和歌が賛否を生んだ状況に対し、道長をはじめとする人々が不服そうにしている様子を見た四条大納言は、自信を失って落ち込んでしまった。

著作権保護の観点により、本文を掲載いたしません。

著作権保護の観点により、本文を掲載いたしません。

出典…文学テキスト入門

前田愛著 筑摩書房

44ページ13行目から48ページ5行目まで

（前田愛『文学テキスト入門』より）

〔注〕

リゴリズム

― 厳粛主義、厳格主義。

(1) 〓 部A、Bのカタカナを漢字になおせ。

(2) 〓 部①とあるが、ここで「演劇」の時代よりも「小説」の時代のほうが新しいものだと思われるのは、逍遙が「演劇」と「小説」との関係をどのようにとらえているからか。筆者の考えに即して、六十五字以上七十五字以内で説明せよ。

(3) 〓 部②について説明したものととして、最も適切なものはどれか。ア～オから一つ選べ。

ア 自分と切り離された対象を観察し、それについてのあらゆる言説を取り払った一つのかたちをニュートラルに記述すること。

イ 模写あるいは傍観によって対象についてのさまざまな言説を蒐集し、それらをつなぎ合わせて小説を構成しようとする事。

ウ 見る人と見られるものを切り離し、模写あるいは傍観しながら分類することで、対象についてのあらゆる言説を蒐集すること。

エ 対象についてのあらゆる言説を視線に訴える形で記述することで、外からは見えないはずの内面をも描き出そうとすること。

オ ニュートラルな記述によって博物誌的な引用のモザイクを否定することで、対象についてのあらゆる言説を取り払うこと。

(4) 逍遙が「人情」と「小説家の努」の関係について述べた内容として、最も適切なものはどれか。
ア 才から一つ選べ。

ア 「人情」とは、これまで人間特有のものとしてしか描かれてこなかった欲求をさし、今後、人間のみならず動物のそれをも積極的に描き出すことこそが「小説家の努」である。
イ 「人情」とは、情欲や煩悩のさらに奥の未知なる人間心理であり、『八犬伝』で「仁義」という情欲を描くにとどまった馬琴は、「小説家の努」を果たしたとはいえない。
ウ 「人情」とは、情欲の動物である人間が抱く避けがたい情欲をさし、これまで歴史や伝記においてほとんど描かれなかったそれを描き出すのが「小説家の努」である。
エ 「人情」とは、賢人君子を除いたすべての人間が抱く複雑な情欲や煩悩であり、その奥を余すところなく描き出して見えるようにすることが「小説家の努」である。
オ 「人情」とは、人間の思想をさし、『八犬伝』において「仁義」に基づき行為する登場人物を描いた馬琴は、不十分ながら「小説家の努」を果たしていたといえる。

(5) — 部③とあるが、筆者がこのように考える理由として、最も適切なものはどれか。
ア 才から一つ選べ。

ア 逍遙自身は十分に理解していなかったが、彼の主張に内在する、観念や思想に対抗しそれを食い破る欲望のエネルギーは、儒教イデオロギーのリゴリズムや禁欲主義と対立してその克服をめざす言説の源流にあるものだといえるから。
イ 逍遙は小説において人間の欲望を解放し、それまで支配的であった儒教イデオロギーのリゴリズムや禁欲主義のような観念や思想と対立させたが、当時の人々にこういった考え方が浸透することはなかったため、時代を先取りしすぎたといえるから。
ウ 逍遙は、人間の内面を観念や思想と欲望、情熱、情欲に分類していたものの、その対立関係までは十分につかみきれなかったことから、儒教イデオロギーのリゴリズムや禁欲主義を乗り越える可能性はあったもののそれを果たしたとは言えないから。
エ 人間を内部と外部に区分した逍遙の規定は、デカルトの心身二元論以降の近代思考の伝統を汲むものではあるが、それを克服した儒教イデオロギーのリゴリズムや禁欲主義、明治の欲望自然主義についての十分な理解にまで至ることはなかったから。
オ 本来は観念や思想を表す人情という言葉的欲望のエネルギーの意味で用いた逍遙の理解は、儒教イデオロギーのリゴリズムや禁欲主義の系列にあるとはいえるものの、その先にあ

る明治の欲望自然主義に到達することはなかったから。

(6) 明治時代の文学について述べた内容として、最も適切なものはどれか。ア～オから一つ選べ。

ア 坪内逍遙は写実主義を提唱して『当世書生気質』を著し、二葉亭四迷は言文一致体で『浮雲』を著した。

イ 坪内逍遙は浪漫主義を確立して『当世書生気質』を著し、二葉亭四迷は言文一致体で『浮雲』を著した。

ウ 坪内逍遙は写実主義を提唱して『当世書生気質』を著し、二葉亭四迷は雅俗折衷体で『浮雲』を著した。

エ 坪内逍遙は浪漫主義を確立して『当世書生気質』を著し、仮名垣魯文は言文一致体で『安愚楽鍋』を著した。

オ 坪内逍遙は写実主義を提唱して『当世書生気質』を著し、仮名垣魯文は雅俗折衷体で『安愚楽鍋』を著した。

